

常温重合型メタクリル樹脂モルタル系路面補修材

ドーロガード™キット



RYOKO 菱晃

■ドーロガードキットの物性データ

製品名		ドーロガードキットASII	ドーロガードキットJCII		
配合率					
樹脂	wt%	16.5	16.5		
骨材		83.5	83.5		
硬化物特性					
	単位	社内規格値	実測値例	社内規格値	実測値例
単位体積重量*5	g/cm ³	2.00±0.05	1.99	2.08±0.05	2.09
曲げ破壊強度*6	N/mm ²	7.5以上	12.8	9.0以上	17.1
圧縮降伏強度*6		12.0以上	20.3	18.0以上	30.7

*5 硬化物重量及び体積より算出、供試体寸法 40mm×40mm×160mm。 上述の実測値例は保証値ではありません。
*6 試験方法：JIS R 5201 11.6 (2015)「載荷速度」を参考に試験を実施（材齢 2日 23℃）供試体寸法 40mm×40mm×160mm。

付着強度					
	単位	実測値例	破壊状況	実測値例	破壊状況
アスファルト	N/mm ²	2.8	母材破壊	—	—
鋼板*7*8		4.4	樹脂モルタル凝集破壊	—	—
コンクリート*8		—	—	3.7	母材破壊

試験方法：建研式付着試験 上述の実測値例は保証値ではありません。
*7 一般構造用圧延鋼板 SS400 使用。
*8 キット用プライマーを使用。

すべり抵抗値 (BPN 値)		
実測値例	78	78

上述の実測値例は保証値ではありません。

■ドーロガードの取り扱い及び保管上の注意

- 使用前に取扱説明書やSDSをよく読み、理解するまで取り扱わないでください。
- 樹脂は消防法の危険物第4類第1石油類（非水溶性）に該当します。火気厳禁など消防法で定められた取り扱い・保管をしてください。
- 硬化剤（プライマー用、冬期用）は消防法という危険物には該当しませんが、過酸化物を主成分とします。また、別売の硬化剤【BPO-50】（過酸化ベンゾイル（純度50%品））は消防法の危険物第5類2種に該当します。取扱説明書及びSDSをよく読み、取り扱い・保管をしてください。
- 材料の取り扱い時及び保管場所は火気厳禁です。消火器を常備してください。また、硬化剤は衝撃も与えないでください。
- 取扱い時は、保護手袋（耐溶剤性・耐油性手袋等）、ゴーグル等の保護眼鏡及び防毒マスク等の保護具を正しく着用ください。
- 蓋をした状態で樹脂缶を1分程度よく振り、樹脂液が均一になるまで攪拌して使用してください。
- 樹脂液と骨材は決められた配合比で混ぜ合わせてください。
- 硬化剤に、硬化促進剤/重金属類/酸/アルカリ/アミン類/酸化還元物質が混入や接触しないよう、取扱・保管してください。
- 粘度調整等のためラッカーシンナー等の洗浄溶剤が混ざると硬化不良、物性低下等の原因となりますので混入しないでください。
- 硬化剤投入後の樹脂缶は放置せず、直ちに使用してください。容器中で硬化させると反応熱で非常に高温になり、刺激臭を有する白煙が生じる場合があります。また、火傷する恐れもあります。従って、取扱者及び第三者に影響を及ぼさないところに仮置きするなど適切な管理をしてください。
- 樹脂液等を取り扱うときは、局所排気等により十分換気を行ってください。
- 樹脂液等が、皮膚に付着した場合は、石鹸を用いてよく洗ってください。また、医師の手当て、診断を受けてください。
- 樹脂液等が、万が一、眼に入った場合は、絶対にこすらず、直ちに水道水で15分以上水洗し、医師の手当てを受けてください。
- 残った材料を流しや排水溝に流さないでください。環境に放出しないでください。
- 各製品は35℃以下の冷暗所に保管してください。直射日光、高温下や水濡れは避けてください。
- 材料を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た産業廃棄物処理業者に内容を明示して処理を委託してください。
- 関係者以外が取扱えないように、施錠するなど十分管理してください。

■取扱会社

■製造・販売元

株式会社 菱晃 ケミカル製品事業部
アクリシラップ部

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL.03-5651-0656 FAX.03-5651-0055

大阪 〒530-6040 大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー
TEL.06-6881-6335 FAX.06-6881-6353

<http://www.kkryoko.co.jp>

<https://www.acrysirup.com/doroguard/index.html>

早期開放型メンテナンスキット

ドーロガード工法を小規模補修用として1箱にキット化しました!!

用途例

1. キットASII

アスファルト舗装の薄層補修、轍掘れ補修、段差修正、橋梁伸縮装置まわりマンホールまわり、銅板等の滑り止め舗装

2. キットJCII

コンクリート舗装の薄層補修、轍掘れ補修、段差修正、RC床版の断面修復

特長

1. 工期短縮が可能です!

1時間程度の硬化時間で工事規制時間短縮など利用者への影響を最小限に抑えます!

2. 薄層でも優れた耐久性です!

下地との接着性が高く薄層でも割れ・剥離が生じにくいです! 耐摩耗性、耐衝撃性に優れ従来の舗装材より長持ちします!

3. 低温で施工可能!

冬期用硬化剤を使用することで0℃の温度環境でも1時間程度で硬化します!
※現場の温度環境が0℃以下になることが想定できる場合はご相談ください。

4. 施工が簡便です!

大型機械不要で施工が簡単です!

5. 車両走行性、歩行性の向上が図れます!

舗装の凹凸を素早く直し、走行性・騒音を改善することができます!

6. ライフサイクルコストが低減できます!

長期性能維持により補修の回数を減らすことができます!

施工方法 (手順)



施工前

<施工例>
キットJCII使用
コンクリート下地



下地処理

表面の埃、汚れ等を取り除き、乾燥した清浄で堅固な下地を形成します。



プライマー塗布(JCIIのみ)

キットプライマーを所定量刷毛又はローラーにて塗布します。

※コンクリート・銅板下地の場合のみ



樹脂と骨材の混練

プライマー硬化後、モルタル用骨材袋に、モルタル用樹脂を全量投入し、揉みほぐすように混練します。



打設

混練した樹脂モルタルは素早く下地に塗り広げ、コテで仕上げます。



撒き砂散布

コテ仕上げ後、直ちに防滑目的のため、撒き砂を散布します。



施工完了



キット概要

標準仕様

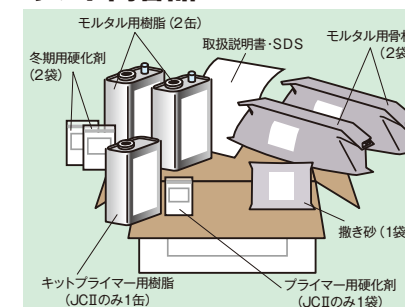
	ドーロガードキットASII	ドーロガードキットJCII
一般断面図		
適応下地種類	アスファルト・銅板*1	コンクリート
1箱あたりの練り上げ量	20kg 約10ℓ	20kg 約10ℓ
施工面積 (t=10mmの場合)	約1m ²	約1m ²
一層で可能な打設厚*2	~30mm	~30mm
色 調	ブラック	ライトグレー
最大骨材粒径 (mm)*3	1.2	2.3

*1 銅板の場合は別途プライマーが必要です。

*2 一層で可能な打設厚を超える場合は硬化後に積層してください。

*3 ロットにより極めて稀ではありますが、表示寸法を超える物が含まれることがあります。

キット内容品 (段ボール箱入り)



1箱あたりの梱包内容

	キットASII	キットJCII
モルタル用樹脂	2缶	2缶
モルタル用骨材	2袋	2袋
キットプライマー用樹脂	—	1缶
プライマー用硬化剤	—	1袋
撒き砂	1袋 (黒色)	1袋 (白色)
冬期用硬化剤*4	2袋	2袋

*4 冬期用硬化剤は下地温度が10℃~0℃で使用します。